



# 選手サポートに全力

## 県内から3氏 役員として同行

29日開幕(日本時間で30日未明)のロンドンパラリンピックには、県内から大分中村病院(大分市)の看護師阿部尚子さん(37)同市、川島整形外科病院(中津市)の医師尾川貴洋さん(37)同市、三菱商事太陽(別府市)の渡辺雅子さん(35)大分市が日本代表選手団の役員として同行する。選手を脇から支える3人は「選手が最大限の力を発揮できるように全力でサポートしたい」と意気込んでいる。

セーリング総務 渡辺雅子さん



阿部さんは大会の本部医療班(6人体制)で活動する。シドニーパラ五輪から毎回看護師を派遣している職場では救急救命を担当。高い技術や明るい性格を見込まれて初めて選ばれた。注意深い体調管理や服薬が欠かせない障害者アスリートのために、けがや発熱、風邪などのほか精神的ケアにも当たる。「障害者年前の世界大会にも同行し、専門の整形外科だけに経験を積みたい」とらわれずに「全身を診

陸上競技のチームドクターを務める尾川さんは、2年前の世界大会にも同行し、や内科での勤務経験も生かす。「障害のある人が競技で

大けがをすれば日常生活への支障が大きい。選手とコミュニケーションを図って早めの体調ケアに当たりたい」と話す。

セーリングの総務担当として赴く渡辺さんは、ヨットの手配など準備全般をほぼ一人でこなす。障害者が働きやすい環境づくりを担う職場での経験、得意の英語力がチームに貢献する。

## 「力、発揮でききるよう」

阿部さんは大会の本部医療班(6人体制)で活動する。シドニーパラ五輪から毎回看護師を派遣している職場では救急救命を担当。高い技術や明るい性格を見込まれて初めて選ばれた。注意深い体調管理や服薬が欠かせない障害者アスリートのために、けがや発熱、風邪などのほか精神的ケアにも当たる。「障害者年前の世界大会にも同行し、専門の整形外科だけに経験を積みたい」とらわれずに「全身を診

陸上競技のチームドクターを務める尾川さんは、2年前の世界大会にも同行し、や内科での勤務経験も生かす。「障害のある人が競技で

大けがをすれば日常生活への支障が大きい。選手とコミュニケーションを図って早めの体調ケアに当たりたい」と話す。

セーリングの総務担当として赴く渡辺さんは、ヨットの手配など準備全般をほぼ一人でこなす。障害者が働きやすい環境づくりを担う職場での経験、得意の英語力がチームに貢献する。

10年ほど前から別府市の障害者セーリング団体でボランティアを始め、競技の普及に尽力。「障害のある人たちが海で生き生きしている姿を見るのがうれしい」と選手らを見守る。

本部医療班 阿部尚子さん



陸上ドクター 尾川貴洋さん



10年ほど前から別府市の障害者セーリング団体でボランティアを始め、競技の普及に尽力。「障害のある人たちが海で生き生きしている姿を見るのがうれしい」と選手らを見守る。